

前回交通会議でのご指摘と対応方針

下野市地域公共交通会議

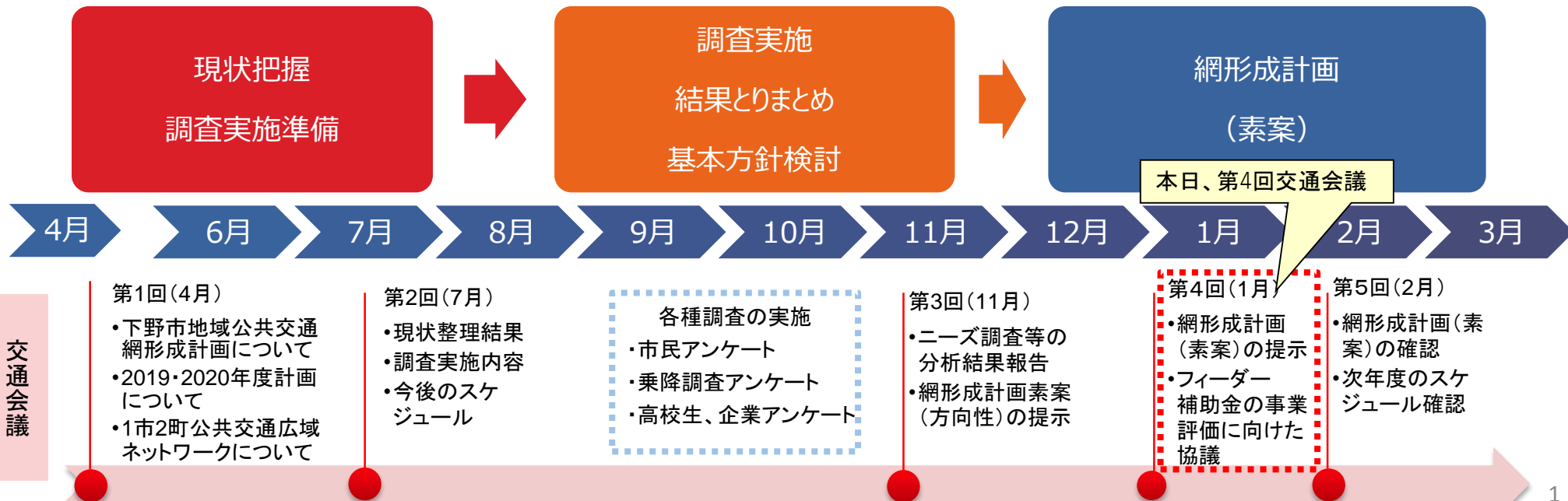
1. これまでの経緯 P1
2. 第3回交通会議での主な指摘事項 P2
3. 第4回交通会議での協議のポイント P3

1. これまでの経緯

下野市地域公共交通会議

- H21年度より下野市内における公共交通のあり方を検討する委員会や交通会議を設置し、バス、タクシー等のサービスに関して議論をしてきた。
- 人口減少や少子高齢化が進展する中、既存の鉄道や路線バス等の利便性や効率性の向上を図るとともに、高齢者等の交通弱者を対象として運行しているデマンドバスを含め、公共交通システムの検討を行い、まちづくりと一体となった持続可能な地域公共交通ネットワークを再構築する必要がある。
- 「下野市地域公共交通総合連携計画」が令和2年度で終了を迎えることから、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年法律第59号、以下「法」という。）に基づき、「地域公共交通網形成計画」（以下「網形成計画」という。）の策定を実施する。

令和元年度に各種調査を実施のうえ、課題と方針の整理結果を踏まえ、網形成計画（素案）を策定する。令和2年度にパブリックコメント等の結果を反映し、網形成計画（案）を国に提出



2. 第3回交通会議での主な指摘事項

○令和元年度第3回交通会議での指摘事項と対応方針は下記のとおりである。

- ・調査結果については、全体に対するサンプル数を意識し、計画へ反映すべき内容か精査していく。
- ・デマンドバスの運行については、多くの意見を頂いたため、運行方法の見直しも含め計画に反映させていく。

主な指摘事項（赤字はご指摘を踏まえた対応方針）※指摘は抜粋して記載

■「前回交通会議でのご指摘と対応方針」について

（太田委員）基金はどういった内容か→**基金は、設置が可能か、必要か等を含め検討する**

（笹川委員）デマンドバスの収支を提示すること→**直近の実績について再度提示する**

■「各種調査結果」について

（笹川委員）サンプル数の扱い方、多い・少ないという言葉の使い方→**多い・少ない等の表現は、見直す**

（山田委員）黄色の文字は見えにくい→**色の使い方は留意していく**

（坪内委員）調査結果の「上三川へ行く便がない」については、行くためにどのような対策をすればよいかに着目して検討していただきたい→**広域連携バスのように市町の連携も含め検討する**

（太田委員）石橋高校1校を調査対象としているため、民生委員へのヒアリングを実施してはどうか→**意見の深堀や追加で情報を得ていく必要がある場合には、追加でヒアリングを実施することも検討する**

■「下野市を取り巻く公共交通の現状と課題」について

（荒川委員）デマンド交通の車両形態について、利用者数や1時間毎の運行等を加味して再検討してはどうか

（鉢村委員）ワゴン車からセダン型にすることで小回りが利く点を生かし、車両台数の増加も検討してはどうか

（保坂委員）デマンド交通に関しては、人員確保、業務の効率化等、様々なことを考えて上手く調整していく

→**（上記3件の意見に対して）事務局としても、車両、運賃、MaaS等の動向も踏まえ、網形成計画に反映する**

（塩田委員）路線バスで行きたい場所に「インターパーク」という記載があるが雀宮駅から路線バスを運行したが収支が悪く撤退した経緯があるため、タクシー事業者と同様、バス事業者も人材不足が深刻であるため、路線を引く場合には慎重な検討が必要

（小矢島委員）路線維持という観点では、乗って頂くことが重要である。乗ってもらう方策(MM)に力を入れていくことも重要

（坪内委員）石橋、自治医大、小金井にJR駅があるため、デマンドバス、路線バスがしっかりと連携し、生活者が乗ることを意識した「まちづくり」を考えていく必要がある。

→**各交通モードの役割を明確にし、連携させていく計画となるよう、引き続き、網形成計画の策定を進める。**

※バス事業者、タクシー事業者ともに担い手不足が顕著となっているため、下野市として市民の移動手段を充実させるにあたって、**短期的に改善の取り組みが可能なデマンドバスの運行方法の検討に注力していく。**

3. 第4回交通会議での協議のポイント

○令和元年度第4回交通会議では、頂いたご意見を踏まえ、計画の位置付け、各種調査結果の情報提供・共有、公共交通の現況と課題、今後の進め方を確認する。

項目	協議内容・資料内容	
①前回交通会議での ご指摘と対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの経緯 ・ご指摘と対応方針 	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回交通会議での主な指摘事項 ・令和元年度第4回交通会議での協議のポイント
②フィーダー補助金事業 評価について	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通確保維持改善事業評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内フィーダー系統確保維持事業 ・目標・効果の達成状況、等
③公共交通副読本バスの こども無料券の対象拡大 について	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組み内容 ・無料券の対象拡大 	2020年度版の無料券概要 支局への申請に向けた、協議会での協議
④各種調査結果について	<ul style="list-style-type: none"> ・下野市地域公共交通網形成計画の基本方針 	<ul style="list-style-type: none"> ・目指すべき公共交通の将来像 ・基本方針 ・将来の交通網イメージ ・目標を達成するために実施する施策(案)
⑤その他	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の進め方 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通活性化再生法改正の動向 ・交通会議の実施予定